

特定非営利活動法人 地域福祉を考える会

発行：NPO法人「地域福祉を考える会」  
発行人：理事長 志村 忠臣  
事務局：〒259-1142  
伊勢原市田中 300 番地の 1-202  
Tel・Fax 0463-95-6665  
メール rtbyw740@ybb.ne.jp

# ニュースレター

## 新年度に向けて 理事長 志村 忠臣

風薫る季節となりました。日頃地域福祉活動に対し皆様のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。おかげさまで地域福祉を考える会の 21 年度事業も無事終えることが出来ました。先般第 6 回総会におきましては大勢の会員の皆様を初め新任、再任をされました理事の皆様のご出席を賜り 22 年度活動事業等計画ならびに収支予算のご審議をいただき無事閉会する事が出来ました事を改めてお礼申し上げます。

今年度も友愛電話・子育て・児童コミュニティクラブ・成年後見の運営と福祉にかかわる研修を会全体の事業として地域福祉とは何かを問いつつ取り組んでまいりたいと思います。

この一年皆様のご支援とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



### ～ 新理事紹介 ～

☆しばしお休みをいただいておりますが、この度、皆様のご推挙により理事に復帰させていただくことになりました。少し年をとりましたが、お休みの間に持病の手術をして体調も少しは良くなりました。また、この 3 年の間にとっても発展してきていてびっくりしました。基盤はできたようですから、楽しく明るい未来を切りひらく活動を、皆さんと一緒に楽しませていただこうと思います。川廷 宗之

を映しているからだと思います。ところで後見人はアドヴォカシー、利用者の利益の代弁を行い、さらに利用者のエンパワメントを目指します。利用者が元気になり、自信をつけ意見が言えるようになって下されば素敵です。利用者のよりよい生活を探って活動する成年後見部会のメンバーに実は私も大いにエンパワメント頂いています。 中 園子

☆私と「地域福祉を考える会」とのつながりは、「子育てひろば」を伊勢原在住の母子と共に見学させていただいた時に中台さんにお会いし、サポーターさん用のエプロンを手渡された時から始まりました。多摩市から実家のある秦野市に転居後、小さな産休明け保育室を開いて 12 年を過ごした後、秦野市の子育て支援事業がスタートし「ポケット 21」で初代子育てアドバイザーになり、その後「伊勢原市子育て支援センター」での仕事も含めて 10 年が過ぎ、4 年ほど前より保育士の原点となった多摩市の保育園に戻り、昨年開室された「地域ルーム」を担当し、地域のシニアの方々や子育て中の親子さんを迎えて過ごす配慮の難しさを感じながらも、利用をつなげる為の試みに取り組みました。また地元の民間保育園での育児相談も 15 年近く続ける事が出来ている事も幸せな事と感じています。今年度は「子育てひろば きらきら」「児童コミュニティ」の代表として活動させていただきます。 神山 幸子

☆成年後見部会で活動しています。その中で楽しみにしている事が 3 つあります。  
①成年後見部会のメンバーの方々の方々の言葉の端々から伺われる人生の豊かさや、深い人間性は確実に、自らの残りの命の糧としてありがたいものと頂戴しています。  
②活動の現場である『竹の子学園』の職員さんのプロとしての誠実な働きぶり、何よりも利用者の皆さんが迎えて下さる時の静かな笑顔に心ひかれています。  
③これは付録ですが、竹の子学園の周囲はその名の示すように竹やぶで、手入れの行き届いた竹林の美しさを季節ごとに楽しんでいます。 佐藤 哲

☆新しく理事を仰せつかりました 中(なか)です。私は、オンブズパーソン発足直後にメンバーに加えて頂きました。忙しい時期があり、成年後見部会は 20 年度から担当させて頂いております。私たちが竹の子学園で担当する利用者は様々な理由から親族の支援が得られず、なかには子供時代から施設で暮らしてきた方もいます。この方々が笑顔で迎えて下さり、落ち着いていらっしやるのは今の生活



### 22 年度役員

志村 忠臣 (理事長)	田中 敏朗
梶田 紀子 (副理事長)	加藤 智恵子
川廷 宗之 (副理事長)	島津 淳
大脇 岩根	本田 一夫
山口 勝夫	佐藤 哲
上枝 きよ	神山 幸子
船橋 晴	中 園子
鶴飼 恒雄	広瀬 絢一郎
氏松 圭子	吉尾 松子
中台 和子	

～ よろしくお願ひします ～



# 児童コミュニティクラブ新学期の様子

新学期に仲間入りした児童もそれぞれのコミュニティクラブに慣れて元気に過ごせている姿が見られています。衣替えはすみましたか・・・児コミ用の着替えの点検もお願いいたします。ポケットにハンカチ持ったかな！！



## 伊勢原第 1



～お花見おやつ～



～牛乳パックでこいのぼり作り～



## 伊勢原第 2



～プラレール～



宿題かな??

## 比々多第 1

こいのぼりできた?



おとととっ!



## 比々多第 2



～桜の下で～



～デザートバイキング～

上手に出来ました!

# 子育てひろば きらきら



～ 私たちのきらきらへの思い ～

☆「おはようございます」「子育てひろば きらきら」はサポーターと子供たちの元気な挨拶で始まります。当初はお母さんのそばから離れなかった子供たち、そっと参加してきたお母さんも回を重ねる毎にお目当てのおもちゃやお友達を見つけると笑顔になります。

「うちの子はきらきらで育ててもらいました」「2番目の子です又宜しくお願ひします」などの声を聞くと本当に嬉しくなります。

「子育てひろば きらきら」はサポーター間の「和と輪と縁」でこんなにも続いている事に感謝して参加しています。事実、子供たちに私達サポーターが癒されている事を実感しています。

これからも、参加される親子さんの期待に添えるような「きらきら」でありたいと心に留めてサポーター活動に参加したいと思ひます。



☆「きらきらに来ると楽しくてホッと出来ます」と言ってくれるようなきらきら。そして母親同士が、子育ての今を語り合え共感しあってママ友を作って楽しく育児をしてもらえる様、手助けができたと思ひます。同時にきらきらに協力して下さるサポーター全員が、楽しく活動出来るきらきらでありたいです。



☆1～2歳児はおもちゃでも良く遊んでいます。3～4歳児になると2時間を過ごすうちに飽きてきていると感じる時があります。そんな時「手遊び歌」や「絵描き歌」等、たくさん覚えて楽しめるように一緒になりたいと思ひます。

☆不慣れながら子供たちのパワーをもらい、楽しく1年が過ぎました。また色々な人達の繋で楽しく会話出来る事は最高の幸ですね。

☆可愛いおちびちゃんに会うのが楽しみです。この場所を皆さん活用なさるといいですね。

☆子供たちは「未来の宝」との認識に立って接し、育む事が大切との記事がありました。心に留め、子供さん達と接していきたいと思ひます。

☆平成17年7月5日開始、今年で5年目です。親、子との縁が出来て、子供たちの元気に遊ぶ姿や笑い声、楽しい話の輪が広がり、癒されてゆったりした心地良い雰囲気の中で楽しい時間を共有し、いつも心が和まされています。

☆ボランティアの方々の和と輪から生まれたとびっきりの笑顔が、親子様への明るい「おはよう！！」につながっています。



# 「高次脳機能障害者の生活実態調査について」研修報告

～ 5月29日 シティプラザ1階会議室にて 講師 本田 一夫氏 ～

高次脳機能障害とは、交通事故による頭部外傷や脳血管障害などにより生じた脳皮質機能の障害によって起こされる様々な神経心理学的症状をいう。

具体的な生活障害としては、次のような問題を生じ、生活に支障をきたしている。

- 直前の事を忘れてしまう（記憶障害）
- 家人への取次ぎや伝言が出来ない（記憶障害、判断力の障害）
- 人とうまく会話がかみ合わない（理解力、言語の障害）
- 訪問販売などに簡単に契約してしまう（判断力の障害）
- 思うようにならないとすぐ怒ってしまう（感情の抑制が出来ない）
- 無理なのに早く元の職業に復帰したいという（現実認識の障害）



日常生活の状況（実態調査から 抜粋 H21年）

衣服の着脱	66%（自立）
意志の伝達	47%（自立） 40%（一部介助）
金銭管理	20%（自立） 36%（一部介助） 36%（全介助）
契約・手続	11%（自立） 23%（一部介助） 57%（全介助）

事故や脳血管疾患によって一命をとりとめ、一見もとの状態に戻ったかに見えるが脳に損傷を残しているためその損傷部位により障害が生じる。常に見守りが必要である。

高次脳機能障害の判断基準が受傷や疾病の発症事実の確認、主たる原因による障害度の認知障害がある。MRI、CT、脳波などに所見が確認できるか等細かい。診断するまでに5年以上を要しすぐには認定されない。子供も対象となるがまだ認定されていないこともある。

※ 身体的には症状がないため、介護保険の利用対象にならない。特に65歳以下の人は利用出来る公的な施設などが少ない。そのために家族負担が大きい。

また手帳の申請、取得、相談する関係機関、就労の場所（作業所）今後の生活の不安、年金のことなど今後障害者支援に関して多くの課題がある。

本田さんから詳細な調査結果データの資料により説明されました。大変勉強になりました。（上枝 記）



## 研修会のお知らせ



### 第 17 回友愛電話初級講習会

日時 7月22日（木）午後1時30分～4時30分  
 場所 伊勢原シティプラザ 3階 研修室  
 内容 電話での対応について  
 申込 事務所 ☎ 95-6665（10時～3時）  
 講師 三橋 善夫氏（話し方教室講師）  
 ※ 現在ボランティアで実際担当されている方も是非ご参加ください。



### 『現代人の心の行方～心の病と心の健康～』

日時 8月21日（土）午後1時30分～  
 場所 伊勢原シティプラザ 3階 研修室  
 申込 事務所 ☎ 95-6665（10時～3時）  
 講師 宮森 孝史氏（東海大学 文学部教授）  
 ※ 終了後、暑気払いします。詳細は後日連絡致します。



### 編集後記

紫陽花の色が美しく映える頃となりました。いつでも記事を募集しておりますので、どうぞお寄せ下さい♪